

「宇宙・地上観測衛星搭載光学素子の開発・製作・形状計測」

開催日 2020 年 3 月 18 日(水)

主催：精密工学会

協賛（予定）：精密工学会東海支部，応用物理学会，日本機械学会，日本天文学会，砥粒加工学会，
レーザー学会，電気加工学会，X 線結像光学研究会

近年，科学と技術の融合が顕著に図られ，両者が共に進化するようになって来ました．産業界では高精度・小型の結像光学系の開発から，LED の発展に刺激されて大型照明系の開発に重点が移りつつあります．一方，空に目を向けると IT 化と共に多くの衛星が飛んでいます．その衛星には，天体観測や地上観測用の光学機器が搭載されます．それらの光学機器には高性能な機能と共に軽量化が重要となります．今後の光学機器開発の基礎となる種々の技術が披露されると期待されます．

また，講演会後に，ポスター展示をした会場で講師の方と直接交流を図る場を用意しています．

開催日時：2020 年 3 月 18 日(水)午前 9 時 20 分から午後 3 時まで

会 場：東京農工大学小金井キャンパス 13 号館 4 階 L1341 室

小金井キャンパスマップ(https://www.tuat.ac.jp/outline/overview/access/koganei/campus_map/)

会場案内：JR 中央線小金井駅から徒歩約 10 分

参加費：無料

プログラム

司 会：中部大学 難波義治 イネイブル(株) 小川秀樹

9：20～10：00 「ISAS/JAXA の衛星ミッションで活躍する X 線望遠鏡：歴史，現状，そして将来展望」
JAXA 宇宙科学研究所 前田良知氏

10：00～10：40 「高精度回転体 X 線ミラーの開発—放射光 X 線顕微鏡から X 線宇宙望遠鏡へ—」
東京大学 三村秀和氏

10：40～10：50 休憩

10：50～11：30 「衛星搭載用軸外し非球面ミラーの加工・計測」
キャノン(株) 松田 融氏

11：30～12：10 「先進光学衛星 広域・高分解能センサの光学系開発」
三菱電機(株) 藤井康隆氏

12：10～13：20 昼食

13：20～14：00 「Update information of NMF 600S and NMF 350S for Freeform Measuring System」 Dutch United Instruments 社 Gerard van den Eijkel 氏

14：00～15：00 ポスターセッション(講師の方々と直接接触ができる技術交流の場)

参加申込：https://www2.jspe.or.jp/form/c_form/20-03-kokai_sympo_app.html よりお申込ください。

シンポジウム資料集：この公開シンポジウムの資料集は他の 2 件のシンポジウムのものと合本で，精密工学会の正会員・賛助会員・学生会員が 5,000 円(税込)，非会員が 6,000 円(税込)で，会場で販売しています。

詳細問合せ先：公益社団法人精密工学会 大会係

〒102-0073 東京都千代田区 1-5-9 九段誠和ビル 2 階

E-mail：jspe_taikai@jspe.or.jp 電話：03-5226-5191